

# 五常

編集発行  
コミュニティ協議会  
広報委員会

人口  
7,104人  
世帯数  
2,740世帯  
平成21年10月現在

## 平成21年7月19日(日) 第2回五常夏祭り開催

平成21年7月19日(日)五常校区コミュニティ協議会主催による第2回「五常夏祭り」を行いました。今回は昨年に引き続き2回目ということで前回の経験を生かし準備を進めておりましたが、一番の誤算は天候でした。開催日の数日前までは雨の予報はみじんもありませんでしたが、前日土曜日になったところから予報に雨が入りだし気にはなっておりましたが、「何とかなるだろう」「大丈夫だろう」と楽観視しておりました。運動場の舞台などの設置も無事完了し、当日朝を迎えたところですが、予報が微妙で、開催時となる夕方から雨となっていました。役員で話し合いをした結果、運動場での開催を断念し、雨が降っても大丈夫なように、急ぎよ体育館や廊下での開催となり、これまた再度会場設営に追われました。幸いにも予報通り夕方から

土砂降りの雨となり、結果としては良かったのですが、開催直前まで準備に追われ、てんやわんやで大変でした。今回は天候に振り回され余計な出費などもありましたが、これも貴重な経験ということで、次回に生かしていきたいと思えます。祭りについては、雨にもかかわらず多くの方にお越しいただき、大いに盛り上がったと自負しております。各お店についてもまんべんなく商品が売れてよかったのではないのでしょうか。今回の成果を生かして来年からもますます素晴らしい夏祭りをしていきたいと考えております。

最後に今回の夏祭りの開催にあたりご協力していただいた地域の皆様、小学校長をはじめ学校関係者の皆様、本当にどうもありがとうございます。来年も変わらぬご協力お願いいたします。



祭り開始直後の会場の様子

会場の様子



会場の様子



体育館での抽選会



体育館での太鼓



### 第1回五常文化祭のお知らせ

日時 平成21年11月15日(日) 午前10時 ~ 16時

場所 五常小学校体育館及び二階

内容 コーラス、演武、琴演奏

写真展、書道・絵画展、お茶会 など



駐車場はございません。お車ではお越しになれません。

主催 五常校区コミュニティ協議会



9月6日「市民と市長との地域対話集会」のご報告

平成21年9月6日、五常小学校で「市民と市長の地域対話集会」が開催されました。対話集会の中で校区の皆さまからの意見と、現時点における市の回答・見解をご紹介します。



地域の対話集会の様子

交差点のカラー舗装について

**校区** 香里ヶ丘7丁目のバス停付近で、少なくとも月1回程度の交通事故が起きている。8月には死亡事故も

起こっている。その改善策として、事故の多発している交差点をカラー舗装することで、事故の防止を図ってほしい。交通事故を起こしている車は、地域の車ではなく、通過交通の車である。それを踏まえて、ハード的な整備をお願いしたい。

**枚方市** 要望箇所については枚方警察署によって横断歩道や一時停止の交通規制が実施されており、本市においてもカーブミラー、交差点標示、道路照明灯設置等の安全対策を実施しています。

交差点におけるカラー舗装につきましては、工事費や維持管理経費、交差点の箇所選定等の課題があり現状では実施していませんが、交通事故防止対策の一つの手法として検討していきます。

小学校西門への通路確保について

**校区** 五常小学校の西門と大通りの間の土地をUR都市機構に無償で借りて、児童の登校等に利用しているがその土地を市で確保してほしい。五常

小学校の西門への用地確保は、避難所防災上の観点からも必要。正門前の坂は傾斜がきつく高齢者や障害者には上り下りがしにくい。用地を確保し、消防車が通れるくらいの幅の確保をしてほしい。

**枚方市** 西門の現状は把握しており、その重要性についても認識しています。UR都市機構では、土地の売却方針がまだ定まっていない状況であり、西門への用地の件については、市と教育委員会からURに要望を行いました。その後、現在の西門の機能を生かしていけるよう配慮すること、土地利用の方向性が定まった段階で協議・調整していくことについて、URと確認しています。

UR都市機構との話し合いの場所の設定について

**校区** 自治会がUR都市機構から土地を確保しようとしても、UR都市機構が話し合いすらしてくれないので、自治会と話ができるようにしてほしい。

**枚方市** 地元自治会に対して状況に応じた説明を行い、話し合いの場

を設けるよう、市としても、UR都市機構に働きかけていきます。

香里団地の再開発事業について

(C)地区

**校区** UR都市機構の香里団地C地区の再開発についてだが、建物が撤去されて3年間放置されており、その空地に雑草が生い茂り、不審者が増えるのではないかと住民も不安を抱いている。

住民不安解消のため、UR都市機構に対し開発の促進を働きかけるとともに、開発に際しては開発をすることになった業者に対し、まちづくりの観点から指導してほしい。

**枚方市** 地元の方々が地域の空洞化に不安を抱かれないよう、的確な情報提供とあわせ、引き続き周辺地域へ説明責任を果たすよう都市再生機構に申し入れていきます。

開発行為等を行う事業者に対しては、「枚方市開発事業等の手続等に関する条例」に基づき適正に指導していきます。



**第2避難所について**

**校区** 第2避難所として四中が指定されているが、四中の横を通って五常小に行っている。第2避難所の開設基準を知りたい。香里ヶ丘5〜7丁目  
は四中の方が近い。

**枚方市** 第2次避難所の開設については、第1次避難所が使用不能となった場合や、避難所のスペースが不足(定員オーバー等)した場合に開設することになっています。

第2次避難所の開設基準は上記のとおりですが、大規模の災害が発生した時には、状況に応じ、適宜 対応していきます。

**災害時要援護者避難事業について**

**校区** 災害時要援護者避難事業の要支援者の申請を受け付けているが、なかなか手を挙げてもらえず、ほとんど登録者がいないため、このままでは災害時に手助けができない。  
なぜ手を挙げてもらえないのか分析して、対策を取ってほしい。

**枚方市** 災害時の救出は、まず家族次に隣近所、次に地域という順番で広がっていきます。

要援護者の登録の方法については、他の地区の状況をも調査した上で、再検討をすべきと考えています。



地域対話集会の様子

**地域に住む職員の情報提供について**

**校区** 緊急時には校区内の市職員の協力が必要であるため、地域に住む市職員の名前を、会長にあらかじめ知らせてもらえると安心する。そんな仕組みをつくってほしい。

**枚方市** 各避難所に派遣する職員は、それぞれ2名を定めています。定められた職員が、校区内に居住しているとは限りませんが、地域の自主防災訓練等にはできる限り参加するよう努めています。

なお、ご要望があれば、派遣職員の所属と氏名は危機管理室よりお知らせしています。

**カラスの駆除について**

**校区** 大通り沿いにある電線に、夜になるとカラスが大量に集まってきたり、その糞が道路や手すりにつばい落ちたりして、子どもたちの通学路にもなっており、衛生的にも問題があるので駆除をお願いしたい。

**枚方市** 連絡を受けた担当部署が直ちに現場確認を行いました。(9月10日午後6時)対策として電線に鳥が止まらないようにするため、関西電力

と現地に協議を行い「鳥がえし」を電線に設置してもらったことが決まりました。(9月11日午前11時)設置に要する期間は、約1ヶ月半と連絡を受けており、設置完了後に道路清掃を行う予定です。

**犯罪ゼロに向けた**

**地域づくりについて**

**校区** 五常校区の犯罪発生は枚方で3番目に少ない。さらに犯罪ゼロに向けての地域づくりが大切だと考える

**枚方市** 市も情報提供に努めるなど、犯罪ゼロに向けての地域づくりを支援していきます。

他にも沢山のご意見いただきましたが、スペースの関係で主な問題を抜粋させていただきました。当日ご参加いただいた住民の皆さまありがとうございました。

またすべての内容については後日、下記の五常校区コミュニティ協議HPにてご覧になれるようになりますので、どうぞご覧下さい。

